

科目名 Course Name	スクールソーシャルワーク論Ⅱ School Social work II			ナンバリング No.	I4-011		
年次	2 年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	大熊信成						
連絡方法	C-Learning で対応。 または福祉棟 3F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)						
関連 DP	DP3,DP4,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>【授業の概要】 本講では、「スクールソーシャルワーク論Ⅰ」で学んだことを土台として、教育現場における児童生徒の抱えている課題や問題を理解について理解を深めるとともに、スクールソーシャルワークの実践モデルについて学ぶ。また、スクールソーシャルワークの支援方法についてマイクロ・メゾ・マクロの視点から理解を深めていく。さらにスクールソーシャルワークにおけるスーパービジョンシステムの必要性について考えていく。</p> <p>【授業の到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① スクールソーシャルワークの実践モデルについて説明できるようにする。 ② スクールソーシャルワークの支援方法についてマイクロ・メゾ・マクロから説明できるようにする。 ③ スクールソーシャルワークにおけるスーパービジョンシステムの必要性について説明できるようにする。 ④ スクールソーシャルワークの課題と展望について説明できるようにする。 						
授業の方法	基本的に講義形式で行うが、リアクションペーパーを実施し、グループ討議での振り返りを行う等アクティブラーニングの技法を取り入れる。また必要に応じて小テストを実施するとともに社会福祉国家試験対策も行い、知識の定着を図る。						
学習成果	L01						
	L02	①スクールソーシャルワークの実践モデルについて説明できる。 ②スクールソーシャルワークの支援方法についてマイクロ・メゾ・マクロから説明できる。					
	L03	①スクールソーシャルワークにおけるスーパービジョンシステムの必要性について説明できる。 ②スクールソーシャルワークの課題と展望について説明できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	毎回の授業でリアクションペーパーを実施する。リアクションペーパーは振り返りを行い全員でシェアをする。また試験対策を行い、授業内で解答・解説を行う。						
教科書/参考図書	教科書:「スクール[学校]ソーシャルワーク論」社団法人日本社会福祉士養成校協会監修/中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	一部視聴覚教材を使用し、内容をレポートで確認する。目的意識・課題意識を明確にして授業に臨み、口頭で述べたこともきちんとノートにとること。遅刻・早退・私語・居眠りは厳禁。「スクールソーシャルワーク論Ⅱ」だけの履修は認められない。「スクールソーシャルワーク論Ⅰ」も履修すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 180 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業への積極的参加を評価する。個人ワークを自主的に行い、明確な課題意識をもって授業に臨むことができる。これらを総合的に判断する。		20		
レポート/作品	提示するテーマについて自分の言葉で述べる事ができる。最高評価である S は意欲的に課題に取り組んでおり、着手すべきテーマの趣旨に沿っていて、学習の成果が十分に示されている。		20		

発表				
小テスト				
試験	論述、選択記述式の定期試験を行い、評価する。論述は根拠(エビデンス)に基づき自分の言葉で述べられていること。		60	
その他				
合計			40	60

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・授業中の留意点など)
	事前・事後学習	スクールソーシャルワークのイメージについて各自ノートに記述してくること。事後学習においてはスクールソーシャルワークのイメージがどのように変化したのかをまとめておくこと。
2	授業内容	スクールソーシャルワークにおける実践モデル①実践プロセス
	事前・事後学習	スクールソーシャルワークの専門性と支援プロセスについてまとめておくこと。
3	授業内容	スクールソーシャルワークにおける実践モデル②一般システム論的視点
	事前・事後学習	テキストを参照にして一般システム論についてまとめること。
4	授業内容	スクールソーシャルワークにおける実践モデル③生態学的視点
	事前・事後学習	人と環境の相互作用についてまとめておくこと。
5	授業内容	スクールソーシャルワークにおける実践モデル④エンパワメントの視点
	事前・事後学習	エンパワメントについてまとめておくこと。
6	授業内容	スクールソーシャルワークにおける実践モデル⑤ストレングス的視点
	事前・事後学習	ストレングスについてまとめておくこと。
7	授業内容	スクールソーシャルワークの支援方法①マイクロレベル
	事前・事後学習	マイクロレベルについて調べておくこと。
8	授業内容	スクールソーシャルワークの支援方法②メゾレベル
	事前・事後学習	メゾレベルについて調べておくこと。
9	授業内容	スクールソーシャルワークの支援方法③マクロレベル
	事前・事後学習	マクロレベルにおいて調べておくこと。
10	授業内容	スクールソーシャルワーカーとスーパービジョン①スーパービジョンの目的
	事前・事後学習	スクールソーシャルワーカーの抱える課題について調べておくこと。
11	授業内容	スクールソーシャルワーカーとスーパービジョン②スーパービジョンの機能
	事前・事後学習	スーパービジョンシステムについて調べておくこと。
12	授業内容	スクールソーシャルワーカーとスーパービジョン③スーパービジョンの形態
	事前・事後学習	スーパービジョンの形態について調べておくこと。
13	授業内容	スクールソーシャルワーカーとスーパービジョン④スーパービジョンの実態その 1
	事前・事後学習	体制と留意点についてまとめておくこと。
14	授業内容	スクールソーシャルワーカーとスーパービジョン⑤スーパービジョンの実態その 2
	事前・事後学習	バイザーとバイジーの関係についてまとめておくこと。
15	授業内容	授業のまとめ スーパービジョンの課題と展望
	事前・事後学習	これからの課題についてノートにまとめておくこと。試験対策を行うこと。